

当院における無痛分娩に関する同意書

当院にて無痛分娩をご予定されている方には、当院 HP へ移動頂いた上、
事前に無痛分娩の詳細とリスクをご理解頂き、署名を頂いております。

医療機関名 えんどう桔梗マタニティクリニック
〒041-0808 函館市桔梗5丁目7番15号

院長 遠藤 力 様

私は、無痛分娩に関する説明の内容を十分に理解の上、以下のように意思決定しました。

無痛分娩の詳細とそれに伴うリスクを理解し 同意します 同意しません

本人 代諾者 (親権者 後見人 法廷代理人 本人署名不能)

記入日 _____年 _____月 _____日

氏名(自署) : _____

氏名(代諾者) : _____

※本人が署名不能な場合のみ、代諾者の署名をお願いします。その場合は、以下に理由を記載してください。

当院における無痛分娩管理指針についての説明

基本方針について

■妊娠回数に関わらず基本的に「計画無痛分娩(自費)」で対応します。

初産の場合、最短で妊娠 39 週以降で調整し、それ以前では計画しません(38 週から内診を実施)。

経産の場合、最短で妊娠 38 週以降で調整となります(妊娠 37 週から内診を実施)。

■安定して人員確保ができる平日(月曜～金曜)の診療時間内に限定対応とし、

土曜および夜間休日は実施いたしません。

■入院予定日前に陣痛が来た場合は平日(月曜～金曜)の診療時間内に限り対応いたします。

なお、この場合も、土曜および夜間休日は実施しません。

■無痛分娩の成功率を高めるために「頸管の熟化(柔らかさ)」を経膈超音波検査を内診所見で総合的に判断し、計画分娩の日程を調整します。

例外事項について

■予想に反して分娩が進行しない場合は、一度帰宅となる場合もあります。

※この場合は、料金は減額対応となります。

■無痛分娩では、陣痛を逃す為の母体の動作が減少することから児の回旋異常の割合が数%増加します。

結果的に回旋異常の場合は分娩が進まないため、帝王切開術となります。

■無痛分娩では効果の程度には個人差があり、痛みを完全に取除けない場合もあります。

例1:個々の麻酔の反応性の違いや、側湾症など背骨の解剖学的な理由の為です。

例2:子宮口全開後の最後の肛門圧迫感を含む痛みについては、腹部と院部での神経支配域の若干の違いにより、

完全に取除けない場合があります。

■医師の判断をもとに「医学的な理由で無痛分娩が必要な妊婦さん(血圧上昇等)」に関しては、

上記の条件に当てはまらない場合もあります。

費用について

■分娩費用に加え、10 万円です。「夜間休日」、「妊娠高血圧症候群等の医学的な適応」、

「ご本人申告による無痛分娩への切り替え」には+2 万円(12 万円)を頂戴しています。

えんどう桔梗マタニティクリニック 院長 遠藤 力

同意日: 年 月 日 ご署名: